

別紙 CMS機能要件一覧

【要求要件】

◎=必須機能(必ず実装する機能。オプション、カスタマイズ、代替案可)

○=推奨機能(可能な範囲で実装する機能。オプション、カスタマイズ、代替案可)

機能要件		要求要件	回答欄	
			対応可否	備考/実現方法
1-1.クライアント動作環境				
1-1-1	CMSは、新たにプログラムをインストールすることなく、ブラウザ（Microsoft Edge、Firefox、Google Chrome）上で利用できること。 上記ブラウザで対応していないものがあれば、バージョン情報を含め備考欄に記載してください。	◎		
1-1-2	接続元のIPアドレスを制限できること。	◎		
1-1-3	パスワードの有効期限およびパスワードポリシー（X文字以上、半角英字大文字小文字、半角数字、記号から3種類以上を含むなど）の設定ができること。	◎		
1-1-4	CMSは、ASPサービスを提供していること。	◎		
1-2.公開コンテンツ				
1-2-1	閲覧者のパソコン機種、OS、ブラウザ、通信回線などの利用環境に依存することなく、ホームページを閲覧できること。	◎		
1-2-2	サイト全体を統一したデザインで管理できること。	◎		
1-2-3	WWWサーバーに公開されるファイルは、原則として静的なHTMLであること。 公開サーバー側で動的に生成されるものがある場合、備考欄もしくは別紙に記載してください。	◎		
1-3.費用				
1-3-1	ユーザー数によって、ライセンス費用が変動しないこと。	○		
1-3-2	管理対象ページ数の増減によって、費用が変動しないこと。	◎		
1-3-3	サブサイト（サブドメインを含む別ドメイン）を管理した場合、別途ライセンス費用が発生しないこと。	○		
1-3-4	CMSのバージョンアップは無償であること。	○		
1-4.実績				
1-4-1	過去5年、国および人口5万人以上の地方自治体において、ホームページの稼働実績および保守運用実績があること。	◎		
1-5.その他				
1-5-1	CMS環境にSSLサーバー証明書を導入設定できること。	◎		
1-5-2	サーバーは庁外環境に置かれ、LGWAN経由で利用できること	◎		
2-1.コンテンツ基本要件				
2-1-1	HTML Living Standardの規定に即したページの作成ができること。	◎		
2-1-2	UTF-8の文字コードに対応できること。	◎		
2-1-3	ページタイトルにサイト名を併記して表示できること（例：ページタイトル/港区）。	◎		
2-1-4	ページ作成時に、掲載するカテゴリー分類を容易に設定できること。	◎		
2-1-5	その際、一つのページについて複数のカテゴリー分類を登録できること。	◎		
2-1-6	作成済みのページを、容易に別のカテゴリー分類に移動できること。	◎		
2-1-7	必須入力項目を任意で定義し、必須入力項目を入力しない場合は、ページが作成、保存できないように制御し、その後も円滑に操作を継続できること。	◎		
2-1-8	連番ではない任意のファイル名を指定できること。	◎		
2-1-9	ページ保存時に、同じファイル名のページがある場合は、警告メッセージ等を表示し、上書きできないこと。また、警告メッセージ等の表示後も、円滑に操作を継続できること。	◎		
2-1-10	ページを保存、公開した後に、ページのファイル名を変更できること。	◎		
2-1-11	その際、関連するリンクを自動で書き換えできること。	◎		
2-1-12	CMSでの作成段階において、作成中のページが公開された際の（実際の）URLが確認できること。	◎		
2-1-13	その際、公開ページのQRコードを作成できること。	○		
2-1-14	ページの右上部に「更新日」もしくは「公開日」情報が自動で挿入できること。	◎		
2-1-15	また、挿入後の日付は任意で変更できること。	◎		
2-1-16	印刷用に最適化されたページ（印刷時にページの横が切れない、など）を作成できること。	◎		
2-2.編集方法				
2-2-1	一つのページに対して、複数のユーザーが編集権限を持てること。	◎		
2-2-2	ユーザーが権限を持たないページに対しては、編集ができないこと。	◎		
2-2-3	同一ページを複数ユーザーが同時に編集できないように警告等を表示できること。	○		

2-2-4	複数人が同一のアカウントを使って、別々の作業ができること。	○		
2-2-5	既存のページを複製してページの新規作成ができること。	○		
2-2-6	その際、既存のページを違う階層へコピーできること。	○		
2-2-7	ヘッダーやフッターなど、サイトの共通部分の変更は管理者以外変更できないこと。	○		
2-2-8	高度な専門知識を持たない職員でも簡単にコンテンツが作成できるように、WYSIWYGインターフェイスが提供されていること。	○		
2-2-9	編集画面からスマートフォンの画面表示を確認できること。また、確認画面はスマートフォン表示とPC表示を簡単に切り替えできること。	○		
2-2-10	フォーム入力型のテンプレートを利用できること。	○		
2-2-11	WYSIWYG入力型とフォーム入力型が同一テンプレート内で併設できること。	○		
2-2-12	権限を与えられた作成者のみが、HTMLソースを直接編集できるように設定できること。	○		
2-2-13	作成途中のページを一時的に保存し、再ログイン後に編集を再開できること。	○		
2-2-14	htmlページが生成される前に、ページを一時的に保存できること。	○		
2-2-15	作成中に破棄したページや、削除したページを一定期間保存できること（ごみ箱機能）。	○		
2-2-16	ページの編集中に公開時のイメージでプレビューできること。	○		
2-2-17	プレビュー画面を確認しながら、ページの編集を行えること。	○		
2-2-18	ページ作成の基本操作や、ページ作成時に注意が必要な事例などが、図解入りで分かりやすく説明されたヘルプ画面が準備されていること。	○		
<b>2-3.ナビゲーション</b>				
2-3-1	各ページに対して、統一されたグローバルナビゲーション（トップページのデザインに対応した共通のナビゲーション）を自動生成できること。	○		
2-3-2	各ページに対して、統一されたローカルナビゲーション（同階層の一覧を表示する等の補完的なナビゲーション）を自動生成できること。	○		
2-3-3	各ページのグローバルナビゲーションおよびローカルナビゲーションを、管理者による簡易な操作で更新できること。	○		
2-3-4	全てのページに「ページの先頭へ戻る」リンクを設定できること。	○		
2-3-5	パンくずリストを自動生成できること。	○		
2-3-6	その際、ページタイトルが自動的に引用できること。	○		
2-3-7	パンくずリストの生成において、特定のページの直下（例：トップページの直下、組織のインデックスページの直下など）にページが作れないような制限をかけられること。	○		
<b>2-4.編集機能</b>				
2-4-1	見出しレベル（<h>タグ）、段落（<p>タグ）など、一般的なタグを利用したページの作成が、HTMLの知識がなくても簡単に指定できること。	○		
2-4-2	サイト管理者があらかじめ指定したMETA要素（description、keyword）に挿入されるべき文字列を、各ページに自動挿入でき、かつ編集できること。	○		
2-4-3	装飾に用いる文字色、背景色は、管理者が指定した色のみを使用させるように設定できること。	○		
2-4-4	ユーザーが利用できる編集機能を、管理者が指定したものだけに設定できること。	○		
2-4-5	また、その際にはアイコンをグレーアウトするのではなく、表示させないこと。	○		
2-4-6	Wordデータを取り込める（もしくはコピー&ペーストする）こと。	○		
2-4-7	その際、アプリケーション特有のHTML表現を自動的に全て削除できること。	○		
2-4-8	ページ作成時、作成者IDにあらかじめ設定された属性等に基づき、ページ内の特定の位置に、所属、電話番号、FAX番号等の項目を自動挿入できること。	○		
2-4-9	その際、ページによっては必要な情報へ書き換えができること（例：デフォルトは課の代表電話番号等で表示されているものを、作成者が担当系の電話番号等へ書き換える、など）。	○		
2-4-10	テキストや画像を組み合わせて部品化し、必要に応じてページの中に挿入できること。	○		
2-4-11	テキストや画像を組み合わせて部品化したものについて、元の部品化したデータを修正することで、使用しているページ全てに対して自動的に反映できること。	○		
2-4-12	ページ作成時、文字入力した任意のテキストにルビ（ふりがな）を設定できること。	○		
<b>2-5.表（テーブル）に関する機能</b>				
2-5-1	表を作成する際、行、列の追加や削除、見出しセルの設定、幅のパーセント指定などが、HTMLソースコードを編集することなく、簡易な操作で作業できること。	○		
2-5-2	Excelデータを取り込める（もしくはコピー&ペーストする）こと。	○		
2-5-3	その際、アプリケーション特有のHTML表現を自動的に削除できること。	○		
2-5-4	Excelデータから取り込んだ（もしくはコピー&ペーストした）表を加工できること。行、列の追加や削除、見出しセルの設定、幅のパーセント指定などが、HTMLソースコードを編集することなく、簡易な操作で作業できること。	○		
2-5-5	既存の表全体をコピーして別のページに貼り付けできること。	○		

2-5-6	セルに文字書式（フォントサイズや太字など）を指定する際、管理者が指定した文字書式のみを使用させるようにできること。	◎		
2-6.画像に関する機能				
2-6-1	簡易な操作でページ内に画像を配置できること。	◎		
2-6-2	設定済みの画像の置き換えができること。	◎		
2-6-3	画像の配置位置（左・中央・右）の指定ができること。	◎		
2-6-4	画像を配置した場合に、テキストの回り込み指定ができること。	◎		
2-6-5	画像の代替テキスト（ALT属性）の未入力を防ぐために、アラートが表示されること。	◎		
2-6-6	画像の代替テキスト（ALT属性）入力の際、alt=""（空）を指定できること。	◎		
2-6-7	登録できる画像のファイル種別（JPEGやGIF等）を制限できること。	○		
2-6-8	JPEGやPNG以外に、webp形式もアップロードできること。	◎		
2-6-9	登録できる画像のファイル容量（またはサイズ）を制限できること。	◎		
2-6-10	画像のリサイズや切抜きができること。	◎		
2-6-11	全ユーザーが共通で使用可能な画像の素材集が設けられること。	◎		
2-6-12	その素材集は、管理者によって追加、削除が可能なこと。	◎		
2-7.リンクに関する機能				
2-7-1	サイト外にリンクを設定した場合、任意のルールに基づき、リンク文字の後ろに「外部リンク」などの文言を自動挿入できること。	◎		
2-7-2	リンク先のページを表示する際、別ウィンドウで開く設定ができること。	◎		
2-7-3	PDF等の各種ファイルへリンクできること。	◎		
2-7-4	PDF等の各種ファイルへのリンクを指定する際、リンクできるファイルを管理者の定めたファイル形式のみに制限できること。	○		
2-7-5	PDF等の各種ファイルへのリンクを指定する際、ファイルの容量を制限できること。	◎		
2-7-6	管理者判断でPDF等の各種ファイルのファイルの容量制限を再設定できること。	◎		
2-7-7	リンクしたファイルの種類、サイズの表記を自動挿入できること。	◎		
2-7-8	PDF等の各種ファイルのプロパティ情報をCMSの操作画面から確認できること。	○		
2-7-9	PDF等の各種ファイルのプロパティ情報に作成者名が含まれる場合、アラートを表示できること。	○		
2-7-10	PDF等の各種ファイルのプロパティ情報に作成者名が含まれる場合、自動で削除できること。	○		
2-7-11	プレビュー画面で、他のページやファイルへのリンクを確認できること。	◎		
2-7-12	外部、内部へのリンク切れのチェックが、ページ単位で行えること。	○		
2-7-13	外部、内部へのリンク切れのチェックが、サイト内一括で行えること。	◎		
2-7-14	被リンクページをチェックできること。	◎		
2-7-15	スマートフォンでの閲覧の際に、電話番号をタップすることで電話がかけられるリンクを設定できること（iPhoneのSafariなどにみられる、ブラウザ側の機能に依存するケースは含まない）。	◎		
2-8.地図および動画掲載に関する機能				
2-8-1	Google地図などを用いて、施設などの所在地を地図上に表示（ページ内に地図情報を埋め込み）できること。	◎		
2-8-2	施設のジャンルごとに、施設一覧が地図上で確認できるようなページを生成できること。	◎		
2-8-3	ページのHTMLソースを直接編集することなく、YouTubeサイトから得られるソースコードを入力フォームに入力するだけで、ページ内にYouTubeに掲載した動画が埋め込み再生できること。	◎		
2-8-4	動画ファイルを画像と同じようにサーバーにアップロードし、ページに貼り付けできること。	◎		

2-9.アクセシビリティ対応				
2-9-1	CMSに登録されているページ全体を一括してアクセシビリティチェックができ、問題のあるページの一覧を表示できること。	○		
2-9-2	日本工業規格「JIS X8341-3:2016」達成等級AAに配慮したコンテンツ作成ができること。	◎		
2-9-3	miCheckerの診断で問題ありの判定が出ないページ構成やページ作成ができること。	◎		
2-9-4	ページ作成時に下記のチェックを行うことができ、問題があった際は警告を表示、問題箇所を特定できること。 ・画像の代替テキスト有無 ・日付、時間などの表記 ・全角英数字、半角カナの使用の有無 ・機種依存文字の有無 ・不要な全角スペースの有無 ・ページタイトルの有無 ・リンクテキストに適切ではないテキスト（例：「こちら」「ここをクリック」など）など	◎		
2-9-5	その際、どのように修正すればよいか説明する解説を表示できること。	◎		
2-9-6	その際、管理者が指定したチェック項目に限り、好ましい表記に自動で置き換えできること。	◎		
2-9-7	管理者がチェック内容を自由に選択、設定できること。	◎		
2-9-8	使用が好まれない単語を含んでしまった場合、管理者が用意する辞書をもとに、好ましい表記に変換できること（例：「子供」→「子ども」）。	◎		
2-9-9	その際、警告を表示する単語は管理者が任意に登録できること	◎		
2-9-10	画像の代替テキスト（alt）に使用が好まれない単語（例：「写真」「イラスト」など）が設定されていた場合、警告を表示できること。	◎		
2-9-11	ページ単位で、色のみに依存した情報提供が行われていないか、プレビューイメージ等から視覚的に把握できる仕組みがあること。	○		
2-9-12	見出しによる文書の構造化チェックができること（例：見出し1の有無、見出し1、見出し2などの階層構造）。	◎		
2-9-13	読み上げソフト利用時にどのように読み上げられるか、確認できること。	○		
2-9-14	文字サイズ、文字色、背景色等を利用者が読みやすいように変更できること。	◎		
2-10.その他の機能				
2-10-1	ページを多言語（英語、中国語、韓国語等）に自動変換する機能や、多言語のページを作成できる機能があること。	◎		
2-10-2	日本語のページを多言語（英語、中国語、韓国語等）で読み上げる機能があること。	○		
2-10-3	ページをやさしい日本語に自動翻訳する機能があること。	○		
2-10-4	ホームページで表示するフォントをユニバーサルフォントに指定できること。	◎		
3-1.サイトマップ				
3-1-1	サイトマップを自動生成できること。	◎		
3-2.新着情報等へのリンク				
3-2-1	「新着情報」や「注目情報」など、ページが公開されたタイミングで自動的にリンクを表示（更新）する領域を設けられること。	◎		
3-2-2	古い内容が「新着情報」や「注目情報」に掲載されないよう制限できること。	◎		
3-2-3	自動生成されるリンクテキストに、自動で日付を付与できること。	◎		
3-2-4	新着情報等に掲出されるリンク文字列は、リンク先のページタイトルと違う内容を指定できること。	◎		
3-3.スマートフォンおよびタブレット向けコンテンツ				
3-3-1	スマートフォンおよびタブレット用ページを作成できること。	◎		
3-3-2	スマートフォンおよびタブレット用ページをPCページ作成と同時に自動生成できること（レスポンシブウェブデザインも可とする）。	◎		
3-4.カレンダー				
3-4-1	CMSを利用して各課が登録したイベント情報をもとにして、表組み形式によるカレンダーを自動生成できること。	◎		
3-4-2	イベント紹介用のミニカレンダー（日にちをクリックするとその日のイベント一覧が出てくる）を設けられること。	○		

3-4-3	イベント情報をカテゴリー分けし、カテゴリーごとのカレンダーを表示できること。	◎		
3-4-4	イベント情報に施設の属性を持たせ、施設ごとのイベント情報を表示できること。	◎		
3-4-5	イベント情報を開催日、カテゴリー、施設名などで検索できること。	◎		
3-4-6	イベント情報ページに画像、PDF等のファイルへのリンクが配置できること。	○		
3-5フォーム				
3-5-1	アンケートフォームやメールフォームなど、フォームを伴うページをHTMLのソースコードやCGI等のプログラムを直接編集することなく、簡単に作成できること。	◎		
3-5-2	管理者だけではなく、各所属でフォームを伴うページを作成できること。	◎		
3-5-3	フォームの利用者が入力内容を送信前に確認できること。	◎		
3-5-4	同時に複数のフォームが設定できること。同時に開設されるフォームのページ数に上限がないこと。	◎		
3-5-5	フォームのページは、指定した公開日/削除日に、自動公開/自動公開停止ができること。	◎		
3-5-6	各フォーム内の設問数に上限がないこと。	◎		
3-5-7	各設問は、ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニュー、複数行の入力フィールドなど、HTMLのフォームで実現できるスタイルを自由に採用できること。	◎		
3-5-8	アンケート結果を集計する機能があり、集計された結果をCSVファイルなどで保存、出力できること。	◎		
3-5-9	一般的なページの下部に、閲覧者の意見を聞くためのミニアンケート（フィードバックフォーム）を設置できること。また、その結果をページの担当課で確認できること。	◎		
3-5-10	投稿者が送信前に入力内容を確認できること。	◎		
3-5-11	問い合わせフォームを作成する際に、メールの送信先を任意のアドレスに設定できること。	◎		
3-5-12	お問い合わせに対する自動返信メールが送信できること。	◎		
3-6.FAQ				
3-6-1	FAQページを作成できること。カテゴリーの分類、キーワード検索が可能であること。	◎		
3-6-2	FAQの項目（質問、回答およびそのカテゴリー）の追加、更新、削除ができること。	◎		
3-6-3	FAQコンテンツの中から、指定のものだけはトップページの指定された領域にリンクとして掲出できること。	○		
3-7.レコメンド機能				
3-7-1	「このページを見た人はこんなページも見ています」、といった関連性の高いページを自動的に抽出し、ページの任意のエリアへ一覧表示できること。	○		
3-7-2	「最近チェックしたページはこちら」というユーザーごとの閲覧履歴を表示するリマインド機能を提供できること。	○		
3-8.広告バナー				
3-8-1	任意のページに広告バナーを掲載する領域が設けられること。	◎		
3-8-2	掲載期間を設定できること。	◎		
3-8-3	任意のページに設置された広告バナーが、閲覧者にどれだけクリックされているかを集計する機能があり、集計された結果をCSVファイルなどで保存、出力できること。	○		
3-9.サイト内検索				
3-9-1	サイト内検索ボックスを、全ページに設置し、全文検索（PDF、Office文書などの内部テキストを含む）できること。	◎		
3-9-2	サイトの閲覧者がサイト内の記事を検索する際、キーワード検索以外に、カテゴリーによる絞り込み検索、更新日（期間）を指定した検索ができること。	○		
3-9-3	その際、絞り込み検索の情報を追加・削除できること。	○		
3-9-4	サイト内検索結果を更新日時順などに並び替えできること。	○		
3-9-5	表記ゆれに配慮した検索結果表示ができること。	○		
3-9-6	区が管理する別ドメインのページも検索対象にできること。	○		
3-9-7	検索結果の一覧に、ページの更新日付を表示できること。	○		
3-9-8	入力時に候補語句を自動的に表示（サジェスト機能）できること。	○		
3-9-9	広告の出ないサイト内検索を提案できること。	◎		

3-10.SNS連携機能					
3-10-1	各ページ内において、別途データベースや外部APIサービスから得られる情報を簡単に埋め込み表示できること（例：X（旧Twitter）ウィジェットなど）。	◎			
3-10-2	全ページにX（旧Twitter）「ポスト」ボタン、Facebookの「シェアする」ボタン、LINEの「LINEで送る」ボタンを設置できること。	◎			
3-10-3	ボタンの設置は管理画面から、追加、修正、削除ができること。	◎			
3-10-4	更新情報をX（旧Twitter）・Facebook・LINEなどで提供できること。	◎			
3-10-5	各ページを作成する際、OGPの画像を設定できること。	○			
3-11.その他					
3-11-1	区が指定する場所に、チャットボットの埋め込みができること。	◎			
3-11-2	トップページの任意の箇所にバナーを表示できること。	◎			
3-11-3	ホームページの記事をSmartNewsに提供できること（SmartNewsに記事を配信するためのフィードを自動生成できること）。	◎			
4-1.ページ管理					
管理機能	4-1-1	CMS上で登録されているページを、タイトル、カテゴリー、所有者、公開期間などで検索できること。	◎		
	4-1-2	CMSに登録されている全ページの現在の状態（新規作成中、編集、承認依頼中、公開中、非公開中など）を、一覧で確認、検索、出力できること。	◎		
	4-1-3	CMS上で、サイト内のページをフォルダ階層（エクスプローラー風）で閲覧、編集開始などができること。	◎		
	4-1-4	検索条件等で抽出された範囲のページを対象に、CMSに登録されているページの情報をCSV形式などで取り出せること。	◎		
	4-1-5	特定の語句がページ内に使用されているページを検索でき、検索後に置き換えできること。	○		
	4-1-6	現時点より未来日を指定して、その時点でのページおよびサイトをプレビューできること。	○		
	4-1-7	ページ公開後、なんらかの事情で編集した内容を取りやめたい場合、簡単なボタン操作等で公開前の状態に戻すことができること（ロールバック機能）。	○		
	4-1-8	構築時に決定したカテゴリー名称に変更が生じた際、管理者が変更できること（例：大分類：医療・健康・福祉—中分類：高齢者福祉—小分類：介護保険・介護サービス—末端ページ—といった構造の分類名を変更する）。	◎		
ページの公開	4-1-9	ページごとに公開開始／公開終了の指定ができ、自動的に公開または終了できること。可能な場合、指定できる時間の単位（10分単位、1時間単位など）を備考欄に記載してください。	◎		
	4-1-10	記事が承認されてから即時に公開サーバー上に公開できること。5分以上かかる場合は、公開までに要する時間を備考欄に記載してください。	◎		
	4-1-11	管理者は手動で公開サーバーに即時公開ができること。	◎		
	4-1-12	組織のページなど、非公開が望ましくないページに対して、管理者が指定することでページの公開期間を永続的に無期限に設定できること。	◎		
	4-1-13	管理者または指定されたユーザーによる即時公開ができること。	◎		
ページの削除	4-1-14	公開されたページを公開サーバーからのみ削除できること。	◎		
	4-1-15	その際、公開期限が終了したページは、リンクされたファイル（不要となったもの）も含めて公開サーバーから自動的に削除されること。	◎		
	4-1-16	ページを削除（ファイル名を変更）する際、サイト内の別のページからそのページにリンクがあった場合、注意を喚起できること。	◎		
	4-1-17	その際、削除対象のページにリンクしているページを一覧表示できること。	◎		
	4-1-18	一定のルールに従って、CMS外で作成されたHTMLファイルや画像などの依存ファイルを、一括でCMSへ取り込めること。 取り込んだファイルは、CMS内で作成したHTMLファイルと同様の操作で編集できること。	◎		

その他	4-1-19	ページタイトルやファイルパスなどのページ情報が記載されたCSVファイルなどをCMSへ取り込むことで、一括でページ作成ができること。	○		
4-2.緊急時・災害時対応					
	4-2-1	災害発生時にトップページの目立つ位置に災害情報を配信するエリアを設けられること。	◎		
	4-2-2	大規模災害時に管理者による簡易な操作（ボタンを押すだけで切り替え、など）で、トップページ全体のデザインを災害時用のデザインに切り替えられること（スマートフォン版を含む）。	◎		
	4-2-3	災害時のトップページ全体のデザインを複数準備できること（大規模、中規模、小規模など）。また、簡易な操作（ボタンを押すだけで切り替え、など）で切り替えられること。	◎		
	4-2-4	災害情報や気象警報などの情報を、防災情報メールなどの外部のシステムから取得し、ホームページの指定する領域に自動で掲載できること。	◎		
	4-2-5	災害情報や気象警報などの情報を、防災情報メールなどの外部のシステムから取得し、それをAI翻訳または手動翻訳してホームページの特定の場所に掲載すると同時に、X（旧Twitter）、Facebook、LINE、デジタルサイネージなどにも翻訳した内容を提供できること。	◎		
	4-2-6	大規模災害時に発信される様々な情報を時系列で管理したり、更新日時を自動で表示したりできること。	◎		
	4-2-7	災害時などの緊急時に庁内ネットワーク以外からCMS管理画面へログインできること（ただし、不正なログインができないよう、限られたデバイスからのみアクセスできる等、技術的な対応をとること）。	◎		
4-3.テンプレート管理					
	4-3-1	テンプレートは、HTMLやCSSの知識のある管理者によって、新規作成や編集ができること。	○		
	4-3-2	報道資料、イベント情報など特定のテンプレート（または仕組み）を用意し、更新者の習熟度に左右されないページを作成できること。	◎		
4-4.移行専用編集機能					
	4-4-1	組織改正等でページの移行が必要となった場合、簡単にページの移行を行えること。可能な場合、移行方法を示す資料をご提供ください。	○		
5-1.基本要件					
	5-1-1	管理者による、管理コンテンツの割り振り、権限設定、ユーザーID、パスワードの付与ができること。	◎		
	5-1-2	ユーザーの役職等により「作成のみ」「作成と承認」など、柔軟な権限設定が可能なこと。	◎		
	5-1-3	システムのログイン画面、またはログイン後の最初に表示される画面に、管理者からのお知らせを表示できること。	◎		
	5-1-4	ログイン後の画面に、ユーザーごとの「承認情報」「リンク切れ」「公開停止予定」「公開開始予定」「編集中」といった情報が表示され、それぞれのページにジャンプできること。	○		
	5-1-5	システムのメンテナンス中は、システムへのログインを不可にできること。	◎		
	5-1-6	システムのメンテナンス中は、CMSの操作に関する影響を最小限に抑える機能があること。	○		
	5-1-7	ページの公開、削除といった履歴をログとして残せること。	◎		
	5-1-8	任意のページに対して行われた操作履歴を、一覧で確認できること。	○		
5-2.ユーザー管理					
	5-2-1	管理者はCMSを使って、簡易な操作でユーザー情報の修正、追加、削除を行えること。	◎		
	5-2-2	CMSに登録されたユーザー情報を、CSV等の形式で出力できること。	◎		
	5-2-3	事前にCSVなどの形式で作成しておいたユーザー情報をCMSに取り込むことで、修正、追加、削除が容易に行えること。	◎		
5-3.組織管理					
	5-3-1	管理者はCMSを使って、簡易な操作で組織情報（部署名、施設名、問い合わせ先情報）の修正、追加、削除を行えること。	◎		
	5-3-2	CMSに登録された組織情報を、CSV等の形式で出力できること。	◎		

5-3-3	事前にCSVなどの形式で作成しておいた組織情報をCMSに取り込むことで、修正、追加、削除が容易に行えること。	◎		
5-3-4	管理者は、組織改正時にCMSが提供する機能を使って組織の統廃合、ページの移動などを行えること。	◎		
5-4.承認フロー				
5-4-1	管理の対象ごとに、異なった承認ルートを持つことができること。	◎		
5-4-2	管理者が必要に応じて、3名以上の承認者を設定できること。	◎		
5-4-3	承認者が否認を行うと、ページ作成者にメールで通知されること。	◎		
5-4-4	その際、決裁ルートと否認理由のコメントを表示できること。	◎		
5-4-5	承認過程において、ページのプレビュー画面（公開されたときと同じ状態）をブラウザで表示できること。	◎		
5-4-6	その際、変更された部分をマーカー表示できること。	○		
5-4-7	承認プロセスの状況を、ページ作成者が確認できること。	◎		
5-4-8	承認依頼を作成者自らがキャンセル（引き戻し）し、ページ内容を再編集できること。	◎		
5-4-9	承認依頼者は、承認者向けにコメントを記入できること。	◎		
5-4-10	承認者は、承認依頼を受けたページを否認する際、作成者向けにコメントを追記できること。	◎		
5-4-11	承認者は、承認依頼を受けたページを編集できること。	◎		
5-4-12	大規模災害時には、承認ルートを通ることなく、作成者自身が即時公開できること。	◎		
5-4-13	サイト管理者以外で、ページの公開権限を持つユーザー（公開責任者）を設定できること（公開権限とは、任意のタイミングでページを公開できることを指す。例：大規模災害時にサイト管理者以外の防災広報責任者が公開するなど）。	◎		
5-4-14	権限を与えられた承認者、ならびに公開責任者は、承認依頼を受けたページを編集できること。	◎		
5-4-15	承認者が不在の時、代理承認などの手段によってコンテンツを公開できること。	◎		